

—適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

「使用上の注意」改訂のお知らせ

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠25mg「ニプロ」
セルトラリン錠50mg「ニプロ」
セルトラリン錠100mg「ニプロ」
(セルトラリン塩酸塩錠)

選択的セロトニン再取り込み阻害剤

セルトラリン錠 25mg「タナベ」
セルトラリン錠 50mg「タナベ」
セルトラリン錠 100mg「タナベ」
セルトラリン塩酸塩錠

2019年7月

ニプロ株式会社
ニプロESファーマ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、添付文書の各項を十分ご覧くださいようお願い申し上げます。

<改訂のポイント>

相互作用(併用禁忌)：「ラサギリンメシル酸塩(アジレクト)」を追記

記

セルトラリン錠25mg/50mg/100mg「ニプロ」

改訂後(_____ 下線：追加記載)	改訂前														
3. 相互作用 1) 併用禁忌(併用しないこと)	3. 相互作用 1) 併用禁忌(併用しないこと)														
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー) ・ラサギリンメシル 酸塩 (アジレクト)</td><td>現行のとおり</td><td>現行のとおり</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー) ・ラサギリンメシル 酸塩 (アジレクト)	現行のとおり	現行のとおり	<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー)</td><td>略</td><td>略</td></tr></tbody></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー)	略	略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子													
MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー) ・ラサギリンメシル 酸塩 (アジレクト)	現行のとおり	現行のとおり													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子													
MAO阻害剤 ・セレギリン塩酸塩 (エフピー)	略	略													

セルトラリン錠25mg/50mg/100mg「タナベ」

改訂後(_____ 下線：追加記載)	改訂前														
3. 相互作用 (1) 併用禁忌(併用しないこと)	3. 相互作用 (1) 併用禁忌(併用しないこと)														
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー) ラサギリンメシル 酸塩(アジレクト)</td><td>現行のとおり</td><td>現行のとおり</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー) ラサギリンメシル 酸塩(アジレクト)	現行のとおり	現行のとおり	<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー)</td><td>略</td><td>略</td></tr></tbody></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー)	略	略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子													
MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー) ラサギリンメシル 酸塩(アジレクト)	現行のとおり	現行のとおり													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子													
MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩 (エフピー)	略	略													

【改訂の理由】

○「相互作用(併用禁忌)」の項

相手薬との整合を図り、「ラサギリンメシル酸塩(アジレクト)」を追記致しました。

以上

今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎DSU(医薬品安全対策情報)No.281掲載 (令和元年7月発行予定)

◎流通の関係上、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでに日数を要することもございますので、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

◎改訂後の添付文書情報は当社ホームページ(<http://www.nipro.co.jp/>)に掲載しています。また医薬品医療機器総合機構ホームページ(<http://www.pmda.go.jp/>)にも掲載されます。